



箱根ガラスの森美術館 バラとあじさいとクリスタルガラスの華麗なる競演 庭園でバラとあじさいが見頃を迎えます！

箱根ガラスの森美術館では、大涌谷を望む新緑美しい庭園に咲くバラとあじさいが見頃を迎えます。また6月1日から庭園中央にクリスタルガラスのあじさい「オルテンシア」(イタリア語で“あじさい”の意味)が展示されます。箱根の大自然をキャンバスに、次々と開花するバラとあじさい、そしてクリスタルガラスが奏でるハーモニーをお楽しみください。

■箱根ガラスの森美術館で香り高い貴族のバラ



5月下旬から6月下旬にかけて庭園では、西洋で生まれたオールドローズから、「イエアリシヤン」など日本で作出されたモダンな品種、「マリーアントワネット」、「エンプレス・ジョセフィーヌ」、「ポンパドゥール」などヨーロッパ王妃や貴婦人の名がつけられたバラが次々と開花し、香り高く美しい花々をお楽しみいただけます。

期間：5月下旬から6月下旬ごろまで／場所：庭園内各所

New ヴェネチアン・ローズ・ガーデン

ヴェネチアン・ガラス美術館とミュージアム・ショップ館をつなぐ回廊に、今年新たにヴェネチアン・ローズが設置され新スポットが誕生しました。また、色鮮やかな回廊に面した中庭には、繊細優美なヴェネチアン・ローズと、美しい輝きを放つクリスタル・ローズ。写真スポットとしても、たいへん人気です。箱根ガラスの森美術館でしか味わえない、ロマンティックなひとときをお過ごしください。



●ヴェネチアン・ローズ



ヴェネチアン・ガラスならではの美しい色合いと柔らかな曲線のガラスのバラ。バーナーワーク職人の高い技術があるからこそ表現できる、複雑な花びらや、青々とした葉が、満開のローズ・ガーデンを華やかに彩ります。

ヴェネチアン・ローズの数 1,000 輪
9色(赤・ピンク・黄・オレンジ・
緋色・白・オフホワイト・水色・
紫ブルー)

●クリスタル・ローズ



陽光と風できらめくクリスタルガラスのバラ。美しくカットされたガラスパーツを職人が手作業で丁寧に編み上げ、光り輝くバラに仕上げました。クリスタルガラスの幻想的な光は、高貴なバラが放つふよやかな香りのように、贅沢な空間を演出します。

クリスタル・ローズの数 200 輪／4色

■クリスタルガラスの藤の花 初夏の風と木漏れ日を浴びて輝く自然のシャンデリア

春から初夏にかけて箱根の山間には淡い紫色の「藤の花」が美しく咲き誇ります。日本に古くから伝わる藤の花ですが、イタリア・フィレンツェにも名所があり、マルコ・ポーロによって中国よりヨーロッパに伝えられたといわれています。爽やかな初夏の風と木漏れ日を浴びて輝く自然のシャンデリア「クリスタルガラスの藤の花」をお楽しみください。



クリスタルガラス 藤の花～グリチネ～

展示期間：展示中～6月25日(木)
展示場所：庭園 南側テラス
藤の花 約 770 房、直径 1.4cm のクリスタルガラス
7万7千粒を使用



■初夏の陽光に、七色に輝く「ガラスのあじさい」が登場します！

クリスタルガラスのあじさい「オルテンシア」(イタリア語で“あじさい”の意味)は、直径1.4cmのクリスタルガラスと、自然のあじさいの葉を組み合わせで作られた、箱根ガラスの森美術館でしか見られないオリジナル・オブジェです。7色のクリスタルガラスを様々に組み合わせ、あじさいの色彩が日に日に変わる姿を表現しています。15,000粒のクリスタルガラスが、庭園の中央で太陽の光と風を受け、時には雨露を浴びてキラキラと輝きます。



クリスタルガラスのあじさい「オルテンシア」

期間：6月1日(月)～8月16日(日)

場所：庭園内中央

高さ：約1メートル

クリスタルガラスの粒数：
30株(1株につき500粒)
合計15,000粒



■あじさいは70種4500株！珍しいあじさいに出会えます

早川沿いに広がる「あじさい庭園」では、早咲き(6月上旬)・中咲き(7月上旬)・遅咲き(7月中旬～下旬)のあじさい70種4,500株が次々と開花します。

幻のあじさいと呼ばれる「七段花」や「ツルアジサイ」、「クロヒメ」など珍しい品種をはじめ、富士箱根・伊豆地方の近隣に自生する品種、日本各地に分布するヤマアジサイ系統や色鮮やかな西洋アジサイ系統など、数多くの品種のあじさいがご覧いただけます。



▲「七段花(シチダンカ)」

江戸時代にシーボルトにより「日本博物誌」で紹介される。(6月上旬)



▲「ツルアジサイ」

レース編みのような白く小さなあじさいが石壁一面に咲く。山地に生える高山植物。(5月中旬)



▲「クロヒメ」

クロの由来は濃い紫の花と茎が黒っぽく見えることからといわれている。(6月中旬)

■あじさいの滝(見頃：例年7月下旬～)



庭園南側の斜面「あじさいの滝」と名付けられたエリアでは400株を越える大輪のあじさい「アナベル」が咲き誇ります。花色がグリーン→ホワイトグリーン→純白へと姿を変える「八重咲アナベル」を含めた2種類のアナベルの競演は、初夏の箱根ガラスの森美術館でしか見ることのできない光景です。

早川の清流に下る散策路を歩きながら、白いあじさいがまるで滝の水しぶきのように斜面に広がる圧巻の景色をお楽しみいただけます。



箱根ガラスの森美術館公式 X@GarasunomoriWeb では、庭園のバラとあじさいの開花状況を随時お伝えしています。最新情報をご確認ください。

■所蔵作品展「ヴェネチアン・グラスでみせる驚異の部屋」好評開催中

15世紀後半、イタリアの諸侯や貴族たちは、貿易によって得た動植物や鉱石、工芸品などを納めた博物陳列室を作りました。やがて、それは「驚異の部屋」と呼ばれるようになり、現代の博物館や美術館の原型になりました。「驚異の部屋」に納められた未知の品々に知的好奇心を刺激されたヴェネチアのガラス職人たちは、宝石や鉱石、中国の白磁を模倣したガラスなど、新たなガラス製法を生み出します。ガラス職人の探求心が生んだ技法と技巧の数々で、ヨーロッパ中の王侯貴族や文人たちを熱狂させた「驚異の部屋」の世界をご紹介します。



▲レース・グラス驚爪脚ゴブレット
17世紀初 ヴェネチア



▲龍形脚花器 ヴェネチア



▲トリック・グラス 19世紀
ヴェネチア



▲点彩扁瓶 16世紀 ヴェネチア

●同時開催 坪谷隆写真展

ヴェネチアのカーニバルには世界中から多くの観光客が訪れ、文化の爛熟期を迎えた18世紀を彷彿とさせる光景を作り出します。詩や絵画、演劇など様々な芸術にも影響を与えたカーニバル。その華やかな空気を写真家 坪谷隆氏の作品を通して紹介します。



「真珠」



「豊穡」



所蔵作品展「ヴェネチアン・グラスでみせる驚異の部屋～世界の創生～」

【会期】開催中～7月12日(日) 会期中無休

【会場】ヴェネチアン・グラス美術館

【特別協力】神奈川県立生命の星・地球博物館



▲詳細はこちら

●開館30周年記念ブックマーカーをプレゼント

所蔵作品展の会期中、開館30周年を記念して当館の代表作品「点彩花文蓋付ゴブレット」をあしらった、光に透かすと鮮やかにきらめく特殊ブックマーカーをプレゼントいたします。※配布期間：4月18日(土)～7月12日(日)予定

■2つの体験工房で、世界にひとつだけのマイグラスやオリジナルアクセサリーを作ろう！

ストラップやネックレスなどのアクセサリーを作るフュージング体験工房と、グラスにオリジナルの模様を彫るサンドブラスト体験工房では、季節限定モチーフを含め、アクセサリーやグラスの制作体験ができます。ご予約は、箱根ガラスの森美術館ホームページ オンラインチケットにて、ご利用当日午前8時までにお申し込みください。(事前予約優先です) ※写真はイメージです。



【サンドブラスト体験工房】

砂を吹き付けて模様を彫るサンドブラスト
体験料金 1,600円(税込)～
(※グラスの種類により異なります。)
制作時間 約40～60分※毎時間の最大定員8名様まで



【フュージング体験工房】

ガラスを熔かし接合するフュージング
体験料金 2,000円(税込)～
(※ガラス部分のモチーフにより異なります。)
制作時間 約20～30分
※お渡しは制作後約70分、毎時間の最大定員4名様まで

■7/13～17 臨時休館のお知らせ

2026年7月13日(月)・14日(火)・15日(水)・16日(木)・17日(金)
の5日間は、展示替えのため終日休館いたします。大変ご迷惑をおかけしますが、
何卒ご理解ご了承くださいませようお願い申し上げます。

<お問い合わせ> 箱根ガラスの森美術館 ☎0460-86-3111

広報担当 根本・中野・柳井

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原940-48

E-mail: press@hakone-garasunomori.co.jp

公式HP ◆ www.hakone-garasunomori.jp

FAX: 0460-86-3116(広報直通)

入館料金 大人1,800円 大高生1,300円 小中生600円(すべて税込)

